本庄市道の駅基本構想　概要版

1．整備の目的とコンセプト・ターゲット

地域資源を活かした本市の魅力を発信・体感できる場所となることで、新たな地域活力と幸せを創出し、安全・安心に暮らせる防災拠点としての役割を果たすことを目的として、道の駅の整備を検討します。

コンセプト

販 個性豊かな賑わいの拠点
本市の魅力を創造・発信

楽 地域住民と来訪者がともに楽しむ交流の拠点
「しあわせ」の創出を支援
移住や定住につながる施策を展開

挑 地域活力の創出拠点
官民の力を合わせた新たな取組を大切に育む
チャレンジする人を応援

防 安全・安心を担う防災の拠点
地域防災力の強化

本庄市マスコット「はにぽん」

ターゲット

2．導入機能と施設配置

道の駅の登録要件となる休憩機能、情報発信機能、地域連携機能のほか、道の駅を特徴づける交流施設、民間集客施設等の付加機能やコンセプトに沿った機能（防災、産業育成、イベント、交通・輸送結節点）の導入を検討します。配置は、アクセス性、機能連携、利便性を考慮したゾーニングとします。

休憩機能
- 駐車場　●トイレ
- 子育て応援施設（ベビーコーナー　等）

情報発信機能
- 道路情報 ●観光・歴史・文化情報
- 緊急医療情報 ●災害情報
- 行政情報 ●移住定住情報　等

地域連携機能
（文化教養施設、観光レクリエーション施設など）

基本機能
- 物産販売施設
（農産物直売所、特産品・加工品販売、福祉ショップ　等）
- 飲食施設
（カフェ、レストラン、キッチンカー　等）
- 交流施設
（多目的活動室、友好都市連携　等）

付加機能
- 交流施設
（観光・体験農園）
- 民間集客施設
（ドッグラン、遊戯施設、温浴施設 等）

コンセプトに沿った機能

防災機能
- 非常用発電施設
- 備蓄倉庫
- 耐震性貯水槽
- 一時避難場所
- 支援物資供給の中継
- 高付加価値コンテナ　等

※温浴施設、芝生広場の活用
※防災道の駅を視野

産業育成機能
- 農産物等加工品の研究・開発・加工スペース
- チャレンジショップ
- アンテナショップ　等

イベント機能
- 多様なイベントの開催
（全天候型屋外スペースであるエントランス広場及び芝生広場）

交通・輸送結節点機能
- 高速バス、路線バス、デマンドバス等の公共交通機関の発着
- ドローン輸送の発着
（ドローンポートの設置）
- 次世代モビリティの導入
- 自転車活用
- キャンピングカーサイト　等

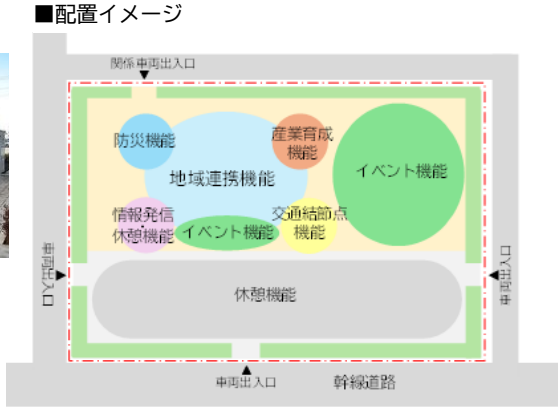
■各施設の導入イメージ　※機能を導入した場合のイメージであり、設置が確定したわけではありません。

地域の伝統野菜などを揃えた直売所
（道の駅まえばし赤城）

災害時にも活用可能な温浴施設
（道の駅まえばし赤城）

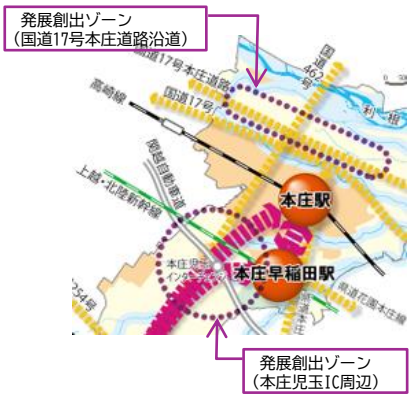
道の駅でのいちご狩り体験
（道の駅いちごの里よしみ）

■配置イメージ

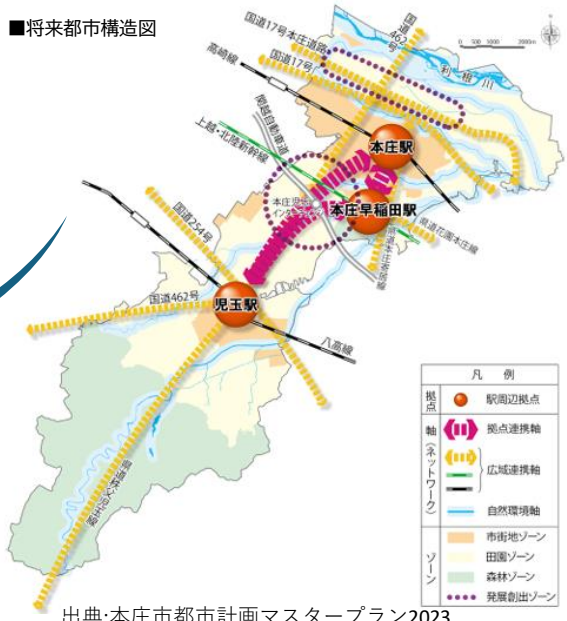


3．候補エリア

「本庄市総合振興計画後期基本計画」及び「本庄市都市計画マスタープラン」において設定されている「発展創出ゾーン」内、道路利用者の利便性や幹線道路からのアクセス性の良さなどから、交通量が多く用地確保の実現性も高い国道17号本庄道路又は国道462号沿道での整備を目指します。



■将来都市構造図



出典:本庄市都市計画マスタープラン2023

4．施設規模

既存の技術基準や各事例を参考に検討します。

導入する機能に応じて３つの整備ケースに分類し、計画交通量が最小の約15,000台/日（国道462号本庄児玉IC付近）の場合と最大の約71,000台/日（国道17号本庄道路と国道462号交差箇所付近）の場合を想定し、各々の全体規模を算出します。

区分	面積					
	ケース1		ケース2		ケース3	
	ケース1-1	ケース1-2	ケース2-1	ケース2-2	ケース3-1	ケース3-2
交通量	約15,000台/日	約71,000台/日	約15,000台/日	約71,000台/日	約15,000台/日	約71,000台/日
駐車マス	約60台	約240台	約150台	約570台	約150台	約570台
【登録要件】 休憩機能 情報発信機能	約3,000㎡	約12,000㎡	約5,000㎡	約19,000㎡	約5,000㎡	約19,000㎡
【登録要件】 地域連携機能	約2,000㎡	約3,000㎡	約9,000㎡	約10,000㎡	約9,000㎡	約10,000㎡
≪コンセプトに沿った機能≫ 防災機能 産業育成機能 イベント機能 交通・輸送結節点機能	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	約11,000㎡	約11,000㎡
施設面積計	約5,000㎡	約15,000㎡	約14,000㎡	約29,000㎡	約25,000㎡	約40,000㎡
調整池、緑地、 敷地内通路など	約3,000㎡	約7,000㎡	約7,000㎡	約15,000㎡	約12,000㎡	約20,000㎡
合計	約8,000㎡	約22,000㎡	約21,000㎡	約44,000㎡	約37,000㎡	約60,000㎡

■整備ケース

ケース1
　基本的な登録要件（休憩機能、情報発信機能、地域連携機能）のみを有する道の駅

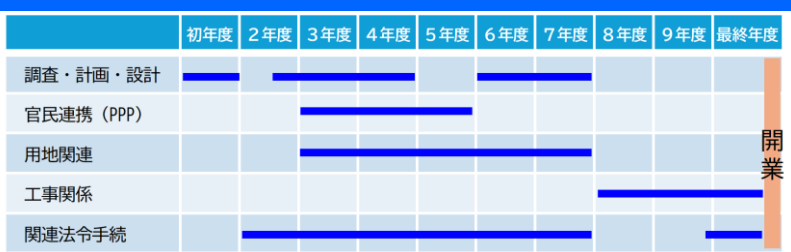
ケース2
　ケース1の導入機能に、地域連携機能（交流施設と民間集客施設）を加えた道の駅

ケース3
　ケース2の導入機能に、コンセプトに沿った機能を加えた道の駅

5．事業スケジュール（案）

現時点では国・県との調整に加え、地域住民への説明や工事時期との調整など、様々な変動要因が考えられます。

このため、道の駅の開業を概ね10年後と仮定し、スケジュールを想定します。



本庄市道の駅基本構想　概要版　　令和７年５月　発行／本庄市　編集／経済環境部産業開発室
〒367-8501　埼玉県本庄市本庄３－５－３　TEL：0495-25-1169 MAIL:sangyo@city.honjo.lg.jp